

謹告

今回常磐毎日新聞社経営の爲めいはらき新聞社平支局を退きました。同社在勤中一方ならぬ御配慮を辱ふしました。大方諸彦に對し厚く御禮申上ます。今後は微力を以て此難事業に身を處し粉骨碎身諸彦の御愛顧に報ゆべき覺悟で御座います。何卒倍舊の御援助を賜り度く懇願致します。右は拜趨御挨拶申上ぐべきの處創業早々の事にて繁忙裡に没頭して居ります。略儀ながら紙上を以つて謹告致します。

小鳥川崎文治

祝發刊

いはらき新聞專賣所

高野分店

平町字田町(電話五二五番)

祝發刊

平銃砲火藥店

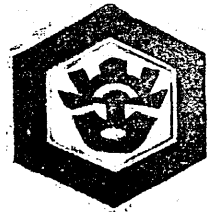
大和田牛音
渡邊貫一
平町一丁目

祝發刊

最上



醬油



元造釀

店本屋鹽

店商郎三與崎山

話七二話電 町平縣島福

定價一部金貳錢
月極ニ限リ一ヶ月卅錢

廣告料五號十三字計
一行五十錢

休刊日、日曜、大祭
祝日ノ翌日

發行兼編輯人印刷人

川崎文治

福島縣石城郡平町字長橋
町卅五番地

發行所
常磐毎日新聞社



夕刊 日一月一十

門出の祝ひ(一)

社長 川崎文治

私が瓜々の聲を擧げた平町の天地に、日刊紙を経営すべき計劃は多年の懸案でありました。然も現在の平町として四つの日刊紙を有し殊に震災の影響を受け世は不況のどん底に彷徨する等周囲の状況が私の計劃を實現すべく極はめて険悪であるに拘らず茲に「常磐毎日新聞」を發行するに至つた事は私がドンキホーテの様な冒險的勇猛心に振ひ立つたと云ふよりは餘り

に無謀に失した行動に出でた事を社會は嘲ふ筈である、然れ共私の「常磐毎日新聞」が言論機關として眞の使命を果し得る日刊紙であつたとしたならば必らずや世は擧げて是れを歓迎すべきである。同時に眞に力強き事業は不況時代に其基礎を固むべきであつて好景氣時代に生み出さるゝ事業の多くは泡沫的なをそして影の薄い事業である、不景氣である爲めに成立しない様な事業であつたならば其持続性は疑はしいと云はねばならぬ、此故を以つて私の事業が果して世の容るゝ處と

なるかならないか寧ろ運さために猪突して見ようとの決心を抱いて躍進する事となつたのであるが幸ひにして先輩諸氏の援助に依り辛じて第一聲を發すべく事業の緒に着く身の出來たりは私の喜びに耐れない處であります、本来から申しますならばゴツ／＼した漢字と並べて書いた發刊の辭でもた眼に掛くべきが至當で御座いませうがそんな時代遅れな形式は御免を蒙りましてカミシモ脱きの御挨拶を申し上げ様と思ひます。モ少し續けさせて戴きます

(續)

内縁の妻を脅迫せんと 爆薬を盗んで逃ぐ

湯本トンネルに隠匿した

當時福島刑務所平支所在監人仙臺市北六番町生れ小林録(四六)は本年四月卅日脅迫罪に依り平區裁判所に於て懲役六ヶ月に處され其服役中の者であるが本年三月廿二日夜仙臺市火藥商近藤勝兒所有の火藥庫を破りダインナイト六貫匁、雷管七千百個を盗み贓品を靴に入れて四月廿五日仙臺驛より汽車に乗り石城郡湯本驛に下車し同月廿八日右の爆薬類を湯本町地内傾城トンネル内に埋没し汽車往來に危険を生せしめた事發覺福島地方裁判所平支部宇留野豫審判事豫審中の處此程終結した因に被告は内縁の妻を脅迫せんとして爆薬を窃取したのであると云ふ

獵友 開催

大會 平町主催にて

平町及び飯野村の獵友會聯合にて飯野村大字谷川瀬宇吉野作地内に射的場を設置すべく準備中であるが近く其筋より許可さるべき見込みである爲め來月下旬を期して縣下獵友大會を開催する計劃の由

統計主任會

避難者の調査

石城郡町村統計主任會は二日午前十時から郡議事堂に

廿七年勤續

麻生川氏表彰

模範的の行員

警城銀行副支配人麻生川顯氏は去月廿八日若松市にて開催の縣下同盟會にて廿七年勤續の功に依り金盃を贈られたが氏の如きは銀行界稀れに見る長期の勤續者である

選挙人數増加

石城郡内本年度衆議院議員選挙人總數は八千七百九十二名であつて大正九年度の八千五百廿七名と比較する時は二百六十五名の増加を示し

大正十二年十一月二日

好問村の 農耕作協議

普及を圖つて

石城郡好問村第一小學校にては同村仲谷産業技手指導の下に荻草の試作を爲し好

不景氣が祟つて

金策に窮した末に罪 吉田勝三の豫審決定

石城郡草野村大字北神谷字七曲吉田勝三(四七)に係る文書偽造行使詐欺被告事件は福島地方裁判所平支部に於て宇留野豫審判事審理中の處此程豫審終結平支部の公判に移されたが豫審決定の理由として勝三は歐洲戰爭當時財界の好況に乘じ土地賣買を爲して多少の利益を得親族より深く信用され家政整理等を託せられ印章等を預つた事があり引續き土地の賣買を爲して多額

浪江の戦時成金が

本多博士に請求訴訟 深い事情の二十萬圓

双葉郡浪江町の富豪西尾直藏氏は東北大學教授理學博士本多光太郎氏が金屬材料研究所に立て籠り鐵礦研究に餘念のない學究的態度に

磐中の 發火演習

熊町方面にて

磐城中學校では來る九、十の兩日に亘り双葉郡熊町方面にて盛んな發火演習を試みる筈

寺男の不仕末から

菩提院の火災原因が判明した

平町字古鍛冶町菩提院火災の原因は放火の疑ある爲め平署にて嚴重取調中の處當日住職不在中に寺男山名岩吉(六一)が燈明の燃わがらである蠟燭を無造作に物置へ投げ込んで置いた爲めに失火するに至つたものと判明した因に損害額は假本堂千圓動産三千圓であると

遂に捉はる

炭礦から盗む

石城郡内郷村大字御厩字下宿居住新湯縣生れ日雇業高橋三治(五〇)は本年三月中旬から六月中旬迄十數回に亘り入山炭礦及び古河炭礦等

同棲中訴

入莖の精鍊夫

石城郡大野村八莖嶺山精鍊夫岩手縣生れ岩淵末治(二九)は郡里岩手縣西磐井郡一ツ井清水吉の妻とりの(二七)及び同人の長女とりの(六三)を誘拐逃走肩書地に夫婦氣取りで同棲中夫清吉から四倉分署に告訴さる

小泥棒の遊興

好問村大字上好間古河炭礦

好問村大字上好間古河炭礦堅坑構内居住東京府生れ時計職工横山勇(二二)は各所

募集

文藝其他一般

投稿を歓迎します

本町人事

出生

△南町 當時石城郡内郷村大字綴字町之内鈴木徳次郎二男喜

青年團振興

四倉町の協議

石城郡四倉青年團臨時集會は昨卅一日午後一時から同町小學校内に開會、青年團振興策を協議したが總集會は舊正月頃を期して開催すべく決定午後四時散會した

小川江修繕

臨時會を招集

石城郡小川江筋普通水利組合臨時會は本日午前十時より郡議事堂にて開會同村大

質素なた祭

石城郡四倉町磐城セメント工場内稻荷神社にては卅一日祭禮を執行したが時節柄とて餘興等を廢し鈴木神官、日崎工業所長以下役員職工等參列厳肅に擧式した

平裁判だより

△女を毆て罰金 平町字南町飲食店西牧常八(四六)は去る八月申根本ヨシを毆打し略式にて罰金廿圓に

召集令に違反

石城郡内郷村大字宮字竹の内利根川金三郎(二四)は陸軍補充兵として内郷村簡閱點呼場に參會すべきに拘らず故なく不參し同科料十圓に

本報日

常磐毎日新聞

(第一號)